

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和07年01月15日

計画の名称	多様な緑のネットワーク形成と人に優しいみどりのまちづくり												
計画の期間	令和07年度 ~ 令和11年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	川崎市												
計画の目標	<p>川崎市は南北に細長く、様々な地形に応じた多様な緑が存在していることから、緑が実感できるまちづくりを実現するため、緑を維持、保全、育成するとともに、新たな緑の創出に努めながら、地域特性に応じた緑と水のネットワークを形成していく必要がある。</p> <p>川崎市緑の基本計画に基づき、多摩丘陵の緑の保全を中心とした特別緑地保全地区の指定により風格のあるまちづくりを推進する。</p> <p>また、本市が管理する緑のストックの拡大や、構成する樹木の成長に伴い、市民要望に伴う臨機応変な対応では適正な管理が困難になっているため、機能維持増進事業として緑地内の択伐等を計画的に実施する。実施にあたっては、廃棄物発生の抑制や再使用に取り組み、温室効果ガスの排出削減を図るとともに、生物多様性確保のために、生き物の生息・生育環境となる拠点等の自然環境を守り、「里山」の再生を目指す。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,779	A	2,779	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7当初		R11末
1	保全すべき緑地の面積のうち、特別緑地保全地区の指定を行った面積の増加 緑地保全カルテに基づく3段階の樹林地保全施策を実施し、低ランクを除く評価地を対象として、特別緑地保全地区の指定面積から算出する 市域全体における保全すべき緑地の面積のうち、特別緑地保全地区の指定を行った面積の割合の増加 = (指定面積累計) / (指定目標面積144ha)	0%	%	100%
2	特別緑地保全地区の整備事業を進めることで、温室効果ガス吸収機能を高めるなどの機能維持増進にも努めていく。 固定吸収が期待される二酸化炭素増加量 緑地整備を行った箇所面積を計測し、固定吸収が期待される二酸化炭素増加量を算出する。 緑地整備により固定・吸収される二酸化炭素増加量 / 対象箇所全体の緑地整備により固定・吸収される二酸化炭素増加量(令和8年度~11年度)1.0t	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R07	R08	R09	R10	R11			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	川崎市	直接	川崎市	-	-	緑地保全等事業	保全利用施設整備、用地取得	川崎市						2,737	-	
	A12-002	公園	一般	川崎市	直接	川崎市	-	-	緑地保全等事業	緑地の機能維持増進	川崎市						42	-	
											小計						2,779		
											合計						2,779		

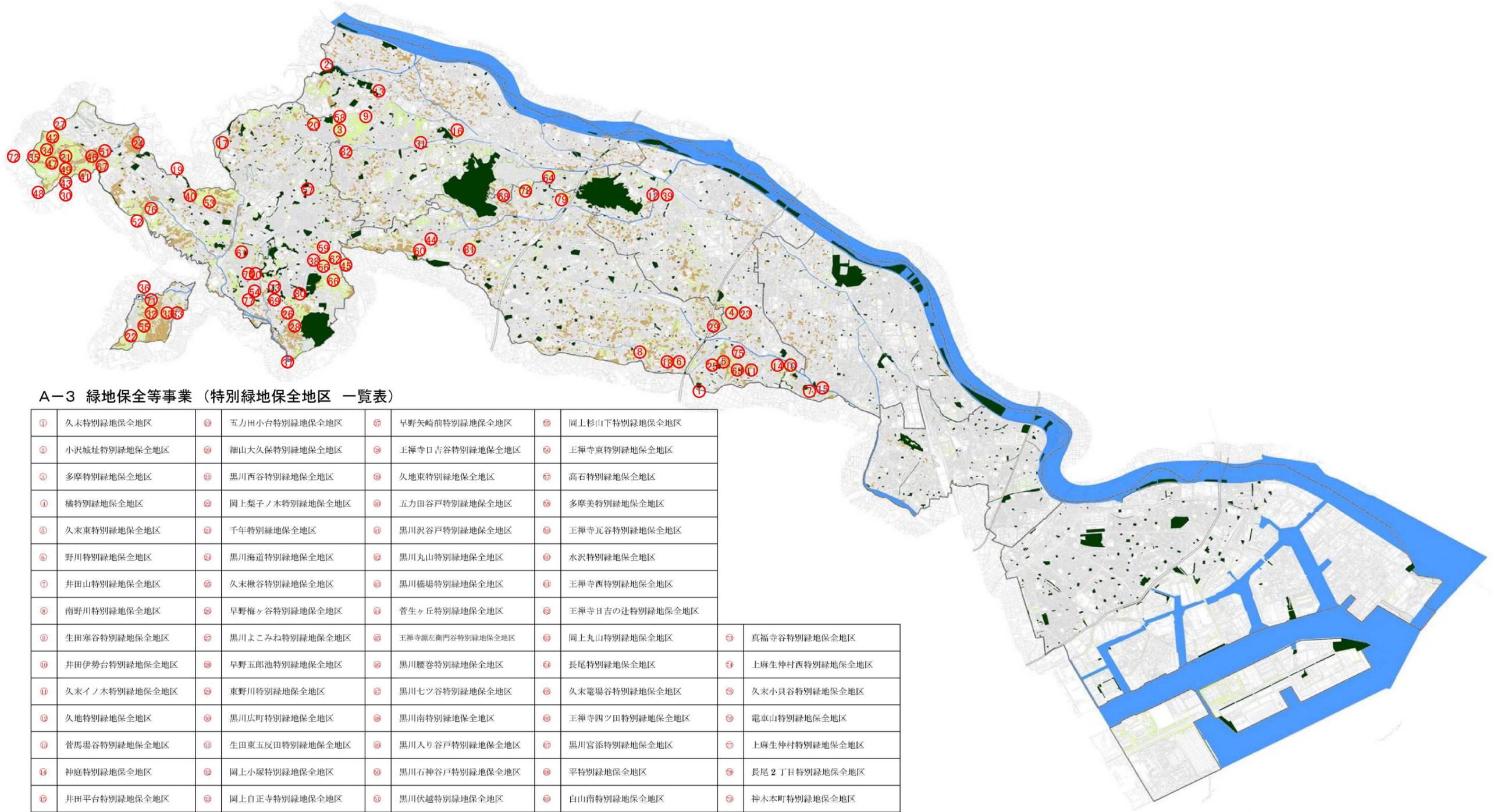
事前評価チェックシート

計画の名称： 多様な緑のネットワーク形成と人に優しいみどりのまちづくり

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 川崎市総合計画及び緑の基本計画を踏まえた計画となっている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 1) 要素事業の実施により相乗効果等が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性）	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 2) 計画について、住民等との間で合意が形成されている。	○

(参考図面) 事業箇所図

計画の名称	1 多様な緑のネットワーク形成と人にやさしいみどりのまちづくり		
計画の期間	令和7年度～令和11年度 (5年間)	交付対象	川崎市



A-3 緑地保全等事業 (特別緑地保全地区 一覧表)

① 久末特別緑地保全地区	⑬ 五力田小台特別緑地保全地区	⑲ 早野矢崎前特別緑地保全地区	⑤⑤ 岡上杉山下特別緑地保全地区
② 小沢城址特別緑地保全地区	⑭ 細山久保特別緑地保全地区	⑳ 上禅寺口吉谷特別緑地保全地区	⑤⑥ 王禅寺東特別緑地保全地区
③ 多摩特別緑地保全地区	⑮ 黒川西谷特別緑地保全地区	㉑ 久地東特別緑地保全地区	⑤⑦ 高石特別緑地保全地区
④ 橋特別緑地保全地区	⑯ 岡上梨子ノ木特別緑地保全地区	㉒ 五力田谷戸特別緑地保全地区	⑤⑧ 多摩美特別緑地保全地区
⑤ 久末東特別緑地保全地区	⑰ 千年特別緑地保全地区	㉓ 黒川沢谷戸特別緑地保全地区	⑤⑨ 王禅寺瓦谷特別緑地保全地区
⑥ 野川特別緑地保全地区	⑱ 黒川海道特別緑地保全地区	㉔ 黒川丸山特別緑地保全地区	⑤⑩ 水沢特別緑地保全地区
⑦ 井田山特別緑地保全地区	⑲ 久末楸谷特別緑地保全地区	㉕ 黒川橋場特別緑地保全地区	⑤⑪ 王禅寺西特別緑地保全地区
⑧ 南野川特別緑地保全地区	⑳ 早野梅ヶ谷特別緑地保全地区	㉖ 菅生ヶ丘特別緑地保全地区	⑤⑫ 王禅寺日吉の辻特別緑地保全地区
⑨ 生田寒谷特別緑地保全地区	㉑ 黒川よこみね特別緑地保全地区	㉗ 王禅寺源左衛門谷特別緑地保全地区	⑤⑬ 岡上丸山特別緑地保全地区
⑩ 井田伊勢台特別緑地保全地区	㉒ 早野五郎池特別緑地保全地区	㉘ 黒川腰巻特別緑地保全地区	⑤⑭ 長尾特別緑地保全地区
⑪ 久末イノ木特別緑地保全地区	㉓ 東野川特別緑地保全地区	㉙ 黒川七ツ谷特別緑地保全地区	⑤⑮ 久末寛湯谷特別緑地保全地区
⑫ 久地特別緑地保全地区	㉔ 黒川広町特別緑地保全地区	㉚ 黒川南特別緑地保全地区	⑤⑯ 王禅寺四ツ田特別緑地保全地区
⑬ 菅馬場谷特別緑地保全地区	㉕ 生田東五反田特別緑地保全地区	㉛ 黒川入り谷戸特別緑地保全地区	⑤⑰ 黒川宮添特別緑地保全地区
⑭ 神庭特別緑地保全地区	㉖ 岡上小塚特別緑地保全地区	㉜ 黒川石神谷戸特別緑地保全地区	⑤⑱ 平特別緑地保全地区
⑮ 井田平台特別緑地保全地区	㉗ 岡上自正寺特別緑地保全地区	㉝ 黒川伏越特別緑地保全地区	⑤⑲ 白山南特別緑地保全地区
⑯ 生田榎戸特別緑地保全地区	㉘ 黒川鷹ノ巣特別緑地保全地区	㉞ 栗木山山特別緑地保全地区	⑤⑳ 上麻生仲村東特別緑地保全地区
⑰ 向原の里特別緑地保全地区	㉙ 西黒川特別緑地保全地区	㉟ 五力田寺谷戸特別緑地保全地区	⑤㉑ 岡上丸山南特別緑地保全地区
⑱ 野川十三坊台特別緑地保全地区	㉚ 岡上川井田特別緑地保全地区	㊱ 柿生の里特別緑地保全地区	⑤㉒ 黒川明坪特別緑地保全地区
			⑤㉓ 真福寺谷特別緑地保全地区
			⑤㉔ 上麻生仲村西特別緑地保全地区
			⑤㉕ 久末小貝谷特別緑地保全地区
			⑤㉖ 電車山特別緑地保全地区
			⑤㉗ 上麻生仲村特別緑地保全地区
			⑤㉘ 長尾2丁目特別緑地保全地区
			⑤㉙ 神木本町特別緑地保全地区
			⑤㉚ 王禅寺東5丁目特別緑地保全地区
			⑤㉛ 菅生6丁目特別緑地保全地区
			⑤㉜ 西生田4丁目特別緑地保全地区